



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月29日

上場会社名 スタンレー電気株式会社

上場取引所 東

コード番号 6923 URL <https://www.stanley.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北野 隆典

問合せ先責任者 (役職名) 経理部門長 (氏名) 赤松 知範

TEL 03(6866)2222

四半期報告書提出予定日 2020年11月12日

配当支払開始予定日

2020年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	155,811	23.8	8,659	60.0	9,526	61.0	3,770	75.9
2020年3月期第2四半期	204,467	4.9	21,625	16.8	24,409	16.4	15,669	18.6

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 8,205百万円 (14.7%) 2020年3月期第2四半期 9,620百万円 (61.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	23.40	23.39
2020年3月期第2四半期	96.16	96.13

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	491,473	399,192	73.2
2020年3月期	494,365	397,989	72.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 359,851百万円 2020年3月期 358,519百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		25.00		20.00	45.00
2021年3月期		20.00			
2021年3月期(予想)				25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	340,000	13.2	30,000	20.8	34,000	13.2	19,500	5.1	121.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	173,700,000 株	2020年3月期	174,200,000 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	12,637,471 株	2020年3月期	12,283,275 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	161,165,489 株	2020年3月期2Q	162,954,850 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しで、リスクや不確実性を含んでおり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることを、ご承知おきください。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、四半期決算短信[添付資料]P.3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
決算補足説明資料は、決算説明会開催後、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 全般的な営業の概況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）の影響により、依然として厳しい状況にあるものの、中国では持ち直してきており、わが国及び米州、欧州では持ち直しの動きがみられ、アジアでは下げ止まりつつあります。

以上のような事業環境のもと、当社並びにグループ各社（以下、当社グループ）の業績は、自動車機器事業の回復や液晶用バックライトの販売好調などにより、回復へ転じつつあります。しかしながら前年同期比でみると、当第1四半期連結会計期間を中心に感染症拡大防止のための生産活動の一時停止や減産を行ったため、主に自動車関連製品が大きく減少した結果、当第2四半期連結累計期間において、売上高は1,558億1千1百万円(前年同期比23.8%減)、営業利益は86億5千9百万円(前年同期比60.0%減)、経常利益は95億2千6百万円(前年同期比61.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は37億7千万円(前年同期比75.9%減)と減収減益になりました。

② セグメント情報の概況

前第2四半期連結会計期間から、自動車機器事業に含まれていたアクセサリ&パーツ製品について、事業区分を見直し、コンポーネンツ事業へ変更いたしました。以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

1) 自動車機器事業

世界の自動車生産台数は、中国では増加しましたが、日本、米州、欧州、アジアでは減少となり、世界全体として減少となりました。二輪車生産台数は、中国は微増しましたが、日本、米州、欧州、アジアでは減少となり、世界全体として減少となりました。ただし、当第2四半期連結会計期間では減少幅が弱まり、回復の兆しも見えております。

このような市場環境のもと、当社グループの自動車機器事業は、自動車、二輪車の販売・生産台数減少の影響を受けて、自動車用ランプ及び二輪車用ランプが減少したことにより、減収減益となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における自動車機器事業の売上高は1,226億5千7百万円(前年同期比24.5%減)、営業利益は25億7千8百万円(前年同期比76.1%減)となりました。

2) コンポーネンツ事業

当セグメント（主な製品：LED、液晶等）が関連する、車載市場、LED照明市場、AV市場及び遊技市場は減少となりました。ただし、車載市場について、当第2四半期連結会計期間では減少幅が弱まり、回復の兆しも見えております。

このような市場環境のもと、当社グループのコンポーネンツ事業は、自動車生産台数が減少した影響を受けて、車載用LED、液晶、及び自動車電球が減少したことにより、減収減益となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間におけるコンポーネンツ事業の売上高は172億8千9百万円(前年同期比24.1%減)、営業利益は8億5千3百万円(前年同期比74.7%減)となりました。

3) 電子応用製品事業

当セグメント（主な製品：LED照明、液晶用バックライト、ストロボ、操作パネル、社内向け電子基板等）が関連する、PC・タブレット市場は増加となったものの、OA市場は微減、車載インテリア市場、LED照明市場及びカメラ市場は減少となりました。

このような市場環境のもと、当社グループの電子応用製品事業は、リモートワークやオンライン授業の増加によるPC特需を受けて、液晶用バックライトが増加したものの、自動車用ランプの制御等に用いる電子基板や車載向けの操作パネル等が減少したことにより、減収減益となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における電子応用製品事業の売上高は408億6千6百万円(前年同期比17.7%減)、営業利益は54億8百万円(前年同期比11.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は4,914億7千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億9千2百万円減少しております。要因は、固定資産が22億1百万円増加したものの、流動資産が50億9千4百万円減少したことによるものです。固定資産の増加は、有形固定資産及び無形固定資産が増加したこと等によるものです。流動資産の減少は、受取手形及び売掛金が増加したものの、現金及び預金が減少したこと等によるものです。

負債は922億8千万円となり、前連結会計年度末に比べ40億9千5百万円減少しております。主な要因は、製品保証引当金が減少したこと等によるものです。

純資産は3,991億9千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億3百万円増加しております。主な要因は、株主資本が13億6千6百万円減少したものの、その他の包括利益累計額が26億9千7百万円増加したこと等によるものです。株主資本の減少は、配当金の支払い等によるものです。また、その他の包括利益累計額の増加は、その他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点においては、業績予想の変更はありません。

当業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しで、リスクや不確実性を含んでおり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることを、ご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	133,475	121,537
受取手形及び売掛金	52,569	59,574
有価証券	200	701
たな卸資産	31,851	31,588
その他	21,815	21,415
貸倒引当金	△6	△7
流動資産合計	239,904	234,809
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	63,784	64,886
機械装置及び運搬具（純額）	56,792	56,220
工具、器具及び備品（純額）	17,668	18,209
土地	14,961	14,994
リース資産（純額）	2,713	2,611
建設仮勘定	26,243	26,581
有形固定資産合計	182,164	183,504
無形固定資産		
のれん	4,180	782
その他	5,178	9,687
無形固定資産合計	9,359	10,470
投資その他の資産		
投資有価証券	55,313	56,503
繰延税金資産	5,018	3,395
その他	2,605	2,790
投資その他の資産合計	62,937	62,689
固定資産合計	254,461	256,663
資産合計	494,365	491,473

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,253	30,756
1年内返済予定の長期借入金	—	105
リース債務	821	735
未払法人税等	2,081	2,694
製品保証引当金	17,689	15,323
賞与引当金	4,613	4,273
役員賞与引当金	112	68
その他	17,718	16,199
流動負債合計	74,289	70,157
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	108	—
リース債務	2,000	2,040
繰延税金負債	1,079	1,773
役員退職慰労引当金	49	48
退職給付に係る負債	7,302	6,819
資産除去債務	499	500
その他	1,046	942
固定負債合計	22,086	22,123
負債合計	96,376	92,280
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,514	30,514
資本剰余金	29,878	29,878
利益剰余金	327,781	327,127
自己株式	△29,643	△30,354
株主資本合計	358,532	357,166
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,112	16,227
為替換算調整勘定	△12,619	△12,280
退職給付に係る調整累計額	△1,506	△1,262
その他の包括利益累計額合計	△13	2,684
新株予約権	457	494
非支配株主持分	39,012	38,846
純資産合計	397,989	399,192
負債純資産合計	494,365	491,473

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	204,467	155,811
売上原価	161,070	128,273
売上総利益	43,396	27,537
販売費及び一般管理費	21,771	18,877
営業利益	21,625	8,659
営業外収益		
受取利息	741	806
受取配当金	500	314
持分法による投資利益	1,312	—
受取ロイヤリティー	766	422
助成金収入	6	482
雑収入	371	197
営業外収益合計	3,698	2,222
営業外費用		
支払利息	145	71
持分法による投資損失	—	62
為替差損	435	902
雑損失	333	319
営業外費用合計	914	1,356
経常利益	24,409	9,526
特別利益		
固定資産売却益	11	27
特別利益合計	11	27
特別損失		
固定資産除却損	879	635
投資有価証券評価損	—	490
特別損失合計	879	1,125
税金等調整前四半期純利益	23,541	8,428
法人税等	5,040	3,575
四半期純利益	18,501	4,852
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,832	1,082
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,669	3,770

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	18,501	4,852
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,227	2,060
為替換算調整勘定	△10,467	1,011
退職給付に係る調整額	273	241
持分法適用会社に対する持分相当額	85	39
その他の包括利益合計	△8,880	3,352
四半期包括利益	9,620	8,205
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,692	6,468
非支配株主に係る四半期包括利益	928	1,736

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	23,541	8,428
減価償却費	16,122	16,166
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△315	△345
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	3,325	△2,334
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△80	△116
受取利息及び受取配当金	△1,241	△1,120
支払利息	145	71
持分法による投資損益 (△は益)	△1,312	62
固定資産除売却損益 (△は益)	868	608
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	490
売上債権の増減額 (△は増加)	4,979	△6,626
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,026	177
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,661	△678
その他	△3,613	△2,745
小計	39,731	12,037
利息及び配当金の受取額	2,423	2,030
利息の支払額	△71	△52
法人税等の支払額	△7,071	△2,180
営業活動によるキャッシュ・フロー	35,012	11,835
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,560	△19,246
定期預金の払戻による収入	4,375	20,892
有形固定資産の取得による支出	△20,004	△15,728
有形固定資産の売却による収入	64	138
無形固定資産の取得による支出	△595	△844
その他	△257	△280
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26,977	△15,069
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,255	—
社債の発行による収入	10,000	—
社債の償還による支出	△10,000	—
自己株式の取得による支出	△2,001	△2,001
配当金の支払額	△4,086	△3,238
非支配株主への配当金の支払額	△1,059	△1,861
その他	△193	△184
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,597	△7,285
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,961	87
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,523	△10,431
現金及び現金同等物の期首残高	126,125	105,176
現金及び現金同等物の四半期末残高	121,602	94,745

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	自動車 機器事業	コンポーネ ンツ事業	電子応用 製品事業	その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
売上高						
外部顧客への売上高	162,294	14,310	27,798	64	—	204,467
セグメント間の内部 売上高又は振替高	256	8,472	21,839	1,412	△ 31,981	—
計	162,550	22,783	49,637	1,477	△ 31,981	204,467
セグメント利益	10,801	3,370	6,120	48	1,285	21,625

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない身体障害者雇用促進事業、グループに対する金融・経営サービス等の事業活動を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額1,285百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,812百万円、セグメント間取引消去3,043百万円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的試験研究費及び管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	自動車 機器事業	コンポーネ ンツ事業	電子応用 製品事業	その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
売上高						
外部顧客への売上高	122,291	10,218	22,856	444	—	155,811
セグメント間の内部 売上高又は振替高	365	7,070	18,009	1,163	△ 26,609	—
計	122,657	17,289	40,866	1,608	△ 26,609	155,811
セグメント利益	2,578	853	5,408	60	△ 241	8,659

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない身体障害者雇用促進事業、グループに対する金融・経営サービス等の事業活動を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△241百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,826百万円、セグメント間取引消去2,520百万円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的試験研究費及び管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第2四半期連結会計期間から、自動車機器事業に含まれていたアクセサリ&パーツ製品について、事業区分を見直し、コンポーネンツ事業へ変更いたしました。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。